

平成24年第10回定例教育委員会

平成24年10月26日(金) 午後3時

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川 清 明	説明員	教育部長	佐藤 哲 司
	委員	相馬 範 子		教育部次長	後藤 好 人
	委員	上野 聡 志		学校教育支援室長	
	委員	郷 早 見			苅谷 正彦
	教育長	月田 健 二		総務課長	木村 藤彦
				総務課参事	三富 一義
				学校教育課長	伊藤 忠 信
				学校教育支援室参事	
					西田 昌平
					園部 真幸
				給食センター長	福井 洋幸
				生涯学習課長	小林 則幸
				生涯学習課主幹	永嶋 満二
				情報図書館長	大村 勇彦
				郷土資料館長	斉藤 俊彦
			記録員	総務課総務係長	近藤 澄人
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 平成25年度予算編成方針について
- (2) 改築基本計画について
- (3) 江別小学校・江別第三小学校の統合に係る協議経過について
- (4) 市民体育館耐震診断結果(速報値)について
- (5) 第8期江別市社会教育総合計画策定スケジュールについて
- (6) 第5期江別市スポーツ推進計画策定スケジュールについて

2 審議事項

平成24年議案第36号

江別市一般会計補正予算(第3号)について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 中学生サミットの開催について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成24年第11回定例教育委員会の日程について

会 議 録

長谷川委員長	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから平成24年第10回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を上野委員さんをお願いいたします。また、報告事項(5)第8期江別市社会教育総合計画策定スケジュールについてと、報告事項(6)第5期江別市スポーツ推進計画策定スケジュールについては、関連がありますことから、一括報告、一括質疑として進めてよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>そのように確認いたします。 それでは議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)平成25年度予算編成方針についての報告を求めます。佐藤教育部長お願いします。</p>
佐藤教育部長	<p>私から平成25年度予算編成方針についてご報告したいと思います。今月11日に拡大庁議を経て市長から示されたもので、市のホームページでも公開されている内容であります。ポイントに絞ってご報告申し上げます。</p> <p>地方交付税への影響など懸念要素がある政治情勢下、市としては、保健・医療・福祉等の経費が増嵩傾向にあり新たな予算措置は厳しいため、第一に既存事業の見直し、事務事業の精査、新財源の検討を指示されております。特に、5次総計の最終年度であることから、計画の達成状況を検証し、進んでいない事業には必要な措置を検討するよう強調されています。</p> <p>重点事項といたしましては、市民協働の推進、人口減少への対応、環境への取り組み、安全・安心なまちづくりであり、職員の柔軟な発想により、中期的な財源を生み出す施策の提案を行うよう指示されています。</p> <p>政策の基本方針としては、市政執行方針で示されている基本姿勢「市民協働の推進」、「人口減少への対応」、「環境への取り組み」、「安全・安心なまちづくり」を踏まえた政策形成を意識すること。なお、記載されていませんけれども、5次総計における基本政策は、「環境と調和する都市の構築」、「明日につながる産業の振興」、「安心を感じる保健・医療・福祉の充実」、「安全で快適な都市生活の充実」、「豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実」、「市民協働によるまちづくり」などであり、これに市長の市政執行方針であります「元気で安心できる人にやさしい街」、「子どもを産み育てる環境が整う教育・文化あふれる街」、「地域の特性を活かした産業を生み出す街」、「環境に配慮したみどりあふれる街」、「立ち止まらない市政改革のもと、市民が参加する市民協働の街」という5つの街づくりの考え方をもって政策の推進に努めるとされています。</p> <p>これらを受けた教育委員会としての予算上の重点事業は、主に安全・安心なまちづくりや、人口減少対応、生涯学習に関連するもので、学校の校舎屋体耐震化事業をはじめ、トイレなどの学校施設整備事業、耐震化を含めた体育施設整備更新事業、特別支援教育推進事業などがあります。</p> <p>なお、教育委員会にかかわる理事者指示事項は、旧北海道林木育種場の利活用、小中学校学習サポート事業、特別支援教育推進事業、文化財整理室の煙突撤去などがありますが、現時点では整理未了の課題もあるため、詳細につきましては別途機会を得て、ご説明いたしたいと存じます。</p>
長谷川委員長	<p>いずれにいたしましても、一般財源の大幅な不足が見込まれておりますので、厳しい予算になると考えております。</p> <p>来月7日が経常費、27日が臨時費の要求期限です。前年踏襲は駄目と市長から指示されておりますので、見直しを含めた予算要求事務を進め、来月以降、新年度予算の重点的の事業につきまして、教育委員会にお示しし、ご意見をいただくこととなるものであります。簡単ですが、以上でございます。</p> <p>ただいま報告のありました平成25年度予算編成方針について、質問等がございましたらお願いします。</p>
相馬委員	<p>平成25年度予算編成方針ということで、限られた予算の中だとは思いますが、とにかく私も教育の立場といたしましては、安全・安心が第一ということで、そこへの予算付けというのは、いつも口をすっぱくして言っているんですがお願いしたい。子どもたちの</p>

<p>相馬委員</p> <p>長谷川委員長 上野委員</p> <p>郷委員</p> <p>長谷川委員長</p> <p>三富総務課参事</p>	<p>ために、安全・安心な学校づくり、学校施設の整備だけは必ず成し遂げていただきたいと考えています。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>厳しい情勢の中で、最近スクラップ・アンド・ビルドという考え方もありますが、難しいと思うんですけれども、よろしくお願ひしたいなと思います。</p> <p>私も相馬委員さんや上野委員さんと同じで、限られた予算ではありますけれども、これから統合問題や学校改築など大変だとは思いますが、いろいろな予算を組んでいただいて、より良い教育環境に向けてということをお願いしたいなと思います。以上です。</p> <p>特に平成25年度においては、大規模な学校改築が入ってまいります。そうすると、市の全体の中においても、教育の予算は相当なウエイトを占めることが予想されます。かといって、それに伴って費用が掛かるので必要以上に予算を削って、今ほど各委員が言われた安全・安心が損なわれることがないように特に配慮をお願いしたいと思っています。</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(2)改築基本計画についての報告を求めます。三富参事お願いします。改築基本計画についてご報告いたします。まず、その前に現在の耐震化の状況についてご説明いたします。</p> <p>平成15年度より実施してきました耐震診断・耐震補強にかかる自主設計は平成23年度で終了し、今年度角山中学校屋内体育館耐震補強工事の実施により、市内小中学校28校のうち21校の耐震性が確保されています。これにより補強による耐震化は終了し、残る3校の改築と2校の統合、それから2校の解体を残すことになります。</p> <p>次に、改築基本計画についてご説明させていただきます。報告事項(2)-1江別太小学校をお開きください。改築基本構想の基本計画案の見開きには、江別太小学校・江別第一中学校の2校共通するポイントを記載してございます。</p> <p>改築基本構想の策定に当たりまして、改築を行う学校が今後江別市の小学校、中学校建替えのモデルとなり、学校を利用する教職員や児童生徒、さらに保護者や地域住民にとって理想的な施設となることを目指したものであり、教職員、保護者、校区内の自治会の代表者など関係者7名を構成員とする協議会を設置しております。市外の新築校を視察のうえ検討を重ねてまいりました。</p> <p>1としまして施設整備の基本方針では、文部科学省による小学校、中学校の学校施設整備指針に示されており、高機能かつ多機能で変化に対応した学習環境の整備、地域住民に身近な公共施設である地域に開かれた複合機能を有する施設環境、災害時には地域の避難施設としての機能を持つ施設環境の整備について、協議会で検討を行っております。結果は、基本構想・基本計画に記載したとおりでございます。</p> <p>今日的な教育課題として、少人数指導による学習、複数学年による学習など多様な学習に対応できる多目的な空間の整備、将来目標ができるだけ同じ場でともに学ぶことができるようバリアフリー対応、耐震性の確保、安全・防犯への対応、環境との共生、不登校対策としてのカウンセリングの充実や地域と連携した施設整備のため学校開放施設・環境整備を行う。特に、江別第一中学校では、武道の必修化を受け、武道が安全かつ円滑に実施できる施設が必要であり、現在教育課程編成に支障を来しております。また、部活動、ブラスバンドでございますが、そういったスペース、学年集会用のスペースの確保も課題となっているため、多目的に使える武道場の整備を検討する。</p> <p>江別太小学校では、合唱団を中心とした心を合わせ歌声が響き合う学校づくりから、音楽教室の充実を求め、合唱クラブや地域のミニコンサートに使用できる施設設備の整備を検討する。保護者・地域からは、情報図書館の分館設置要望が強いので、地域に開かれた施設としての分館設置を検討する。地域の防災の拠点として、備蓄庫などを整備する。なお、学校の協力によりまして、教職員、児童生徒、保護者等へのアンケートを実施し、協議会で検討を行っております。</p> <p>次に、江別太小学校改築基本構想・基本計画(案)の1ページをご覧ください。</p> <p>1ページでは、施設整備に関する動向として、耐震化への取り組み状況、耐震診断の結果、校舎の老朽化などから改築に至った経緯や早期耐震化への取り組みにおける情勢を記載してございます。</p> <p>1ページ中段では、学校の概要として、施設の変遷、現在の児童数、学級数、学校の教</p>
--	---

三富総務課参事

育目標、特色のある取り組みなどを記載し、3ページ、4ページでは周辺環境、敷地状況を図示しております。5ページ施設の概要以降では、施設規模、構造、耐震性や施設内容などを記載しています。

平成24年度の校舎の延べ面積は3,335平方メートルでありますけれども、施設台帳では、整備可能な資格面積が2,139平方メートルあり、狭小な校舎の状態で使用されています。

耐震性を示すIs値は、玄関・特別教室棟、4ページの配置図では白抜きの校舎となっておりますが、これを除き、耐震性が低いことを示しています。以降、写真及び平面図を掲載しています。

次に、8ページでは学校の改築に向けて、学校が抱える課題、改築基本構想として5つの柱となる項目を掲げ、学校づくりを進めるものであります。

地域との連携として、(4)に地域と連携した地域活動拠点として施設を整備する。災害時の地域防災拠点機能を備えた施設として整備することとしております。

9ページ、10ページでは、今後の施設整備に当たっての基本的な考え方として、耐震安全性、自然エネルギーの利用、バリアフリーへの対応、学習環境への柔軟な対応では、従来の狭い廊下と教室の形態からオープンスペースなどの配置により、高機能な教室形態のイメージを示しております。また、地域への開放施設としての整備を図ることとしております。

11ページですが、計画の条件では既存校舎等を使用しながら、グラウンド内に新校舎を建設いたします。開校が想定される平成27年度の補助基準の標準学級数12教室に特別支援学級数2教室のほか、12ページで予定される必要な室数により平面計画を行ってまいります。

13ページでは、建替えのスケジュールを記載しています。現時点では建築工事は補助金決定通知後の契約、議会承認後の着工ですが、住宅地内での施工、冬期間施工、化学物質への対応などに係る期間を勘案すると、2か年にわたる工事が予想されております。

14ページから17ページにかけての改築基本計画では、各室へ配慮する事項について、協議会などの意見・要望などを考慮し記載してございます。

特徴としましては、4番の音楽室、こちらでは地域のミニコンサートに使用を考慮した施設設備の充実を検討すると記載しております。

8番目の図書室では、図書館の分館として地域に開放を検討する。11番の多目的教室・オープンスペースでは、学年全体で利用する広い面積の多目的スペースを分割できるように計画することが望ましい。21番目の防災備蓄庫では、災害時の拠点として電源など施設整備を検討する。28番目のその他では、太陽光発電システム及び電池導入、LED照明など省エネ機器の導入について検討するなどとなっています。

18ページの改築に関する検討では、庁舎内部の検討会で建替えに当たって学校に必要な施設設備など必要な機能について意見や調整を図り、学校関係者、PTA、地域自治会より出された要望やアイデアについて意見交換を行っております。記載はありませんが、他に2回の協議調整を行っております。

19ページの改築関係者による検討では、建替えに当たって学校関係者、PTA、地域自治会との情報交換を行い、要望やアイデアについて意見交換を行っております。

20ページでは、児童、教職員を対象に建替えについて、意見・要望などアンケート調査を実施、主なものを掲載してございます。なお、建物の平面、配置等については現在建設部、設計事務所と打合せを行っているところでございます。

続きまして、江別第一中学校は校舎の全面改築を予定しております。

基本構想・基本計画(案)の作成に当たりましては、学校、学校PTA、地域自治会の代表により協議会を設置しております。1ページをご覧ください。

1ページでは、施設整備に関する動向として、耐震化への取り組み状況、耐震診断の結果、校舎の老朽化などから改築に至った経緯や早期耐震化への取り組みにおける情勢を記載してございます。

1ページ中段では、学校の概要として施設の変遷、現在の児童数、学級数、学校の教育目標、特色のある取り組みなどを記載しております。3ページ、4ページでは周辺環境、敷地状況を図示しています。5ページの施設の概要以降では、施設規模、構造、耐震性や施設内容などを記載してございます。

三富総務課参事

平成24年度現在、校舎の延べ面積は4,990平方メートルありますが、施設台帳では整備可能な資格面積が1,615平方メートルあり、狭小な校舎の状態で使用されています。また、ブラスバンドの練習などについても支障となっています。

耐震性を示すI_s値は、扇形校舎、管理特別教室棟、レンガ教室棟については耐震性が低いことを示してございます。

次に8ページでは、学校の改築に向けて学校が抱える課題、改築基本構想として5つの柱となる項目を掲げ、学校づくりを進めるものであります。地域との関係としましては、江別太小学校と同様でございます。

9ページ、10ページでは、今後の施設整備に当たっての基本的な考え方を示し、10ページでは、学習環境への柔軟な対応として従来の狭い廊下と教室の形態から少人数学習や習熟度別学習に対応するため、新世代型学習空間の配置により高機能な教室形態のイメージを示しております。若干、江別太小学校とは違っております。

11ページの計画の条件では、平成3年度建設の屋内体育館、平成14年度建設の北側校舎については耐震性があり、比較的新しいことから改築対象外としています。既存校舎等を使用しながら、前庭又は体育館横に建設とした場合の配置及び開校が想定される平成27年度の補助基準の標準学級数15教室に特別支援学級数2教室のほか、13ページで予定される必要な室により平面計画を行っております。

14ページのスケジュールとしましては、江別太小学校と同じであります。

15ページから18ページにかけて改築基本計画では、各室へ配慮する事項について、協議会などの意見・要望などを考慮し記載しています。

特徴としましては、4番の音楽室ではブラスバンド等の音楽活動が可能なスペースの確保に配慮する。12番の多目的教室・少人数教室では、学年全体で利用する広い面積の多目的スペースを分割できるように計画することが望ましい。22番の防災備蓄庫では、災害時の拠点として電源など施設整備を検討する。28番のその他では、太陽光発電システム及び電池導入、LED照明など省エネ機器の導入について検討する。また、武道の必修化により教育課程編成に支障があるため、武道場の建設について検討するなどでございます。

19ページから20ページにつきましては、江別太小学校と同様でございます。

21ページでは、生徒、教職員、保護者を対象に建替えについて、意見・要望などアンケート調査を実施、主なものを掲載してございます。以上、第一中学校でございます。

続きまして、第二小学校の建築計画をご覧ください。

江別第二小学校は、校舎の3割に満たないレンガ校舎部分の部分改築でございます。

施設整備に当たっては、学校周辺には公共施設など施設が充実していることから、学校の機能を充実させることに重点を置き、学校との協議を進めてまいりました。

保護者や校区内の自治会へは計画の進め方など説明を行い、意見・要望等については学校を窓口として集約することとしています。

1ページ以降9ページまでは江別太小学校、第一中学校等と構成は同じでございます。

10ページの計画の条件をご覧ください。敷地の制約があることから、グラウンドと屋内体育館の間に仮設校舎を建設し、既設の校舎を解体後、同一位置に建設を行う計画でございます。開校が想定されます平成26年度の補助基準の標準学級数16教室のうち、6教室及び特別支援学級数3教室、11ページで予定される必要な室により平面計画を行ってまいります。

12ページでは、平成25年の建替えのスケジュールを記載しています。現時点では建替え建築工事は補助金決定後の契約、議会承認後の着工、住宅地内での施工、冬期間の施工、化学物質への対応などにかかる期間を勘案しますと、2か年にわたることが予想されています。

次に14ページ、15ページですが、改築基本計画では各室へ配慮する事項について、学校との意見・要望などを考慮し記載してございます。特徴としまして、5番目に多目的教室・少人数教室では、学年全体で利用する広い面積の多目的スペースを分割できるように計画することが望ましい。8番目に防災備蓄庫では、災害時の拠点として電源など施設整備を検討する。14番目にその他では、太陽光発電システム及び電池導入、LED照明など省エネ機器の導入について検討する。

16ページにつきましては、江別太小学校、一中と同じとなっております。なお、児童

三富総務課参事	<p>を対象に建替えについて、意見・要望などアンケート調査を実施し、主なものを掲載してございます。</p> <p>現在並行して進めております基本設計におきまして、平面計画をお知らせできるような状態になりましたら、ご説明していきたいと考えています。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました改築基本計画について、質問等がございましたらお受けします。</p>
相馬委員	<p>先ほどと関連しているんですけども、安全・安心な学校ということと、学校は防災時の避難所になるという両方のことを常に考えているんですね。一中と二小は改築ということは、全部まるっきり変えるということですよ。二小とは違うということですよ。どうせ建てるならということが私の頭にありまして、昭和56年の豪雨の際は、江別とか篠津とかは大変で、水害との戦いなんですね。昭和56年の川の氾濫、その辺のこともすごく考慮してほしいんですが。</p>
佐藤教育部長	<p>昭和56年に限らず、その前にも水害はありましたけれども、一つにはご承知かと思えますけれども、千歳川については一時、国としては放水路計画を立てておりました。ウトナイ湖側に流そうかと。これは漁業者をはじめ強い反対があり、結果として千歳川の抜本的な放水路計画はできないという中で水害だったものですから、国は有識者を集めまして、石狩川流域の総合治水対策の検討のための組織を設けたものでございます。何度も会議を重ね、結果として堤防強化・遊水池といった併用案で決着をしたものでございます。現在は、千歳川流域の治水計画もこれに沿って行われておまして、例えば、南幌町の温泉のある辺り、晩翠辺りの遊水池計画というものは終わっていると思いますし、江別太地区についても着手に至っているというふうに伺っております。そのことによって、千歳川の堤防高、嵩高が定まったので、南大通りの架橋、橋を架ける工事についても、確か昨年度だったかと思いますが、着工に至っているということです。百年規模とか何年規模だとかという問題はありますけれども、現有地改築で進めていくものでございます。以上であります。</p>
相馬委員	<p>それでね、結局9・11のときに大変だったんですよ。あのときも本当に昭和56年のときと同じくらい降水量があって、私もあの時、何かの祝賀会で市長さんたちと一緒にだったんですけども。あの時、スーパー堤防もどきのものを作ったおかげだったんです。私は水害のことがすごく気になって、いま確認したんですけども、そういう堤防を配置すると、津波の所だったら、高層の小学校を建てるだとかあると思うんですけども、江別太小に関してはそういうことはないんですか。津波の所だったら、高層とか山側に校舎を建てるとかなるんですけども、今回の場所は小さいので高層だとかそういうことは考えなかったのかということ。</p>
佐藤教育部長	<p>まず、二つの要素がございまして、一つは平成27年度までのできるだけ早期に学校施設の耐震化に努めるという国の考え方、それからもう一つは学校というのは地域の中核施設でございまして、荒っぽい言い方で申し訳ありませんが、大体2万平米ぐらいの面積を必要とする建物でございまして。現有地以外に建てるのに適した場所がないということと、期限が付いている中で土地を嵩上げするような、開発行為に相当するような工程を加えてしまいますと、建築年次に影響するという問題がございまして。現時点で、基本計画の時点では、特別な許可を要するようなものは予定していません。</p>
相馬委員	<p>子どもたちからは3階建てにしてほしいという希望が出てはいるんですが、急な出水でそういうことになるということは想定していませんけれども、備蓄と緊急避難は3階という想定で話を進めています。</p>
相馬委員	<p>私も子どもたちと同じ意見です。3階であればいいなと思いますね。まだ、予定の段階ですよ。</p>
佐藤教育部長	<p>まだ、図面にしていません。2階と3階とで工期にどう影響するかとかあります。本当は小学校は低層階のほうがいいんだそうです。その根拠は、文科省が示しているガイドライン、小学校整備基準で、4階までとする制限があるということを考えますと、高層は望ましくないという思想が現れていると私は思っています。ただ、3階・4階までいいんですから、当然3階でもいいし、子どもたちの希望も3階ということであれば、いま一旦おっしゃったような高い所があるのもいいのかなとそう考えておりますが、いろいろな問題の有無を実施設計段階までに検証を加えていきます。その結果によって、決まってくるものだと考えています。</p>

相馬委員	それは私も重々分かっているんですけども、あえて先ほどもお話したように、なぜ3階・4階までいいかというのは、その理由があって、子どもたちの希望があるということ。やっぱり、安全・安心の面でどうしても豪雨のことがあるってことで、どうせ建てるなら、その辺を考慮していただけたらなっていうのが私の意見です。 あともう一点は、どうせ作るなら、一中を例にして、普通教室とか特別支援教室とかいろいろの室があるんですけども、職員室は今の予定ではオープンスペースになっているのですか。
後藤教育部次長	先ほど部長からもありましたが、ようやくまだ基本計画の段階なものですから、図面をひいていないということで、この後の基本設計・実施設計の中で実際に学校と話しながら、こういった形でオープンがいいのか、今の時代に見えないというのはないと思いますが、オープンにするにもどんな形がいいのかというのは、これからの話になります。
相馬委員	それでね、だからあえてお話をするんですけども、生徒がほっとできる居場所とかも配慮するっていうのが出ているので、絶対必要なことだと思うんですけども、やはり教職員の勉強する場とか、教職員あつての教育というものがあるので、教職員にとってどんな部屋がいいのか、どうせ作るなら教師もほっとできる居場所、教師の指導体制が十分できるようなものを作っていただきたいということを要望したいと思います。その二点だけです。
上野委員	生徒たちや先生方とかのご意見も入っているということで、可能なものは取り入れるようにしてあげてほしいなと思います。洋式トイレとか、擬音の装置だとか、女性にとってはありがたいものですけども、そういうものはなるべく取り入れるようにしていただきたいなと思います。あと、先ほど相馬委員さんが言っていますけれども、改築することであれば、フィンランドのような、先生がくつろげる場というのも、せっかくなので設置してあげればいいのかなと思います。それと、基本計画ということで、これは設計コンサルとか、どこかに委託するんですか。
三富総務課参事	基本計画については、委託はしておりません。
郷委員	市外小学校・中学校の視察を行っているようなんですけども、ここの小学校・中学校に決めたのは、どのような理由なんですか。平岸西小学校と東白石中学校に2回行っているようなのですが。
三富総務課参事	近郊の市町村ということと、新しい学校をいろいろ調べた中で、江別市が今建てようとする規模が一番近い所ということで、選択させていただきました。
長谷川委員長	これは何年ごろ、改築された学校なんですか。
郷委員	江別太小と一中の経過のところに載っていて、どういう方が行ってきたかは分からないんですが、どなたか行ってきた方の感想か何かあれば。
佐藤教育部長	これは主に改築関係者による協議会、つまり各校長先生、教頭先生、PTAの会長さん副会長さん、それから自治会長さん、こういった方々にこの論議をいただくに当たって、まず新しい学校を見ていただくということが、一番イメージを作りやすいだろうということで、一つは日帰りという条件があるんですけども、規模の類似している最近建った学校ということで、お願いして視察してきたということでございます。
郷委員	分かりました。
長谷川委員長	ほかはないでしょうか。
郷委員	もう一点いいですか。先ほど委託ではないということなんですけども、私は分からないので質問なんですけども、学校を作るときの設計者っていうのは、こういった方なんですか。
佐藤教育部長	率直に申し上げますと、普通は期間を、基本構想・基本計画で大体標準的には1年度を取るぐらいです。それが基本設計という作業に入って、さらに実施設計、詳細設計と言う方もいますけれども、そして着工となるわけです。ですが、一刻も早くという指示が理事者からありまして、簡単に言えば前倒し、期間を切り詰めてやることになったわけです。 後ほど出てまいります江別小学校・第三小学校の統合校については、基本的な計画を作るに当たっての委託料の予算を査定していただいております。ただ、一中・江別太小・二小については、職員が直接地元の関係者のご協力を得る中で、基本構想・基本計画の策定を行いました。ただし、前倒しした分、基本設計が既に着手になっておりまして、今日お見せできる段階には至っておりませんが、一定程度の基本設計図は委託によって、専門業者によって行われています。一つ違うのは、第二小学校でございます、第二小学

佐藤教育部長 郷委員 長谷川委員長	校は来年度着工を目指しておりますので、一気に実施設計に現在入っております。これは、もちろん建設部が関わっているんですが、当然業者も関わる中で進めているものでございます。
園部学校教育 支援室参事	ありがとうございます。 各市町村で学校の改築計画があると、当然建設新聞などでいろいろな情報が流れます。学校改築では、規模からして相当高額になるわけです。これから改築を進めるに当たっては、変な疑惑を抱かれるようなことがないように、慎重に取り運んでほしいと思います。そう言いつつも、今こういう経済情勢の中にあるので、法の許す範囲でできるだけ地域の業者が関与できる方法は取れないのか、これらも併せて検討していただければと思います。ほかはございませんか。
長谷川委員長 上野委員	それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(3)江別小学校・江別第三小学校の統合に係る協議経過についての報告を求めます。園部参事お願いします。 江別小学校・江別第三小学校の統合に係る協議経過についてご報告いたします。お配りしております江小・三小統合委員会だよりをご覧ください。 教育委員会では、昨年6月に江別小学校・江別第三小学校統合委員会を設置し、これまで13回にわたって両校の統合に向けて協議いただいております。 協議の経過につきましては、毎回統合委員会だよりにより、両校のPTAや校区の住民にお知らせするとともに、教育委員会のホームページにも掲載しているところです。 したがって、委員会の回数とだよりの号数は一致しております。第2回委員会以降は、統合校の設置場所を議題に、防災対策や児童の居住分布、学校敷地の面積、通学環境などに関する資料を提示する中で協議いただき、本年1月16日の第5回委員会では、各委員から設置場所についての意見を表明いただきました。 その結果は、防災上の観点から少しでも高い場所にある江別小学校側にすべきとする意見と子供の通学上の利便性を考えて、校区の中心に近い第三小学校側にすべきとする意見に大きく分かれました。 5月21日の第8回委員会からは、教職員の人事異動やPTAの役員改選に伴って半数の10人の委員が交代しておりますが、改めて資料を提示するなどして歩み寄りに向けて協議が進められました。 9月19日の第12回委員会では、改めて各委員から意見表明をいただきましたが、結論が出なかったことから、PTA選出の委員から合意形成に向けて、統合委員会とは別に両校のPTA役員間で話合いの場を持ち、その結果を参考に統合委員会で協議してもらうことが提案され、了承されました。 そして、先般10月10日の第13回委員会では、両校PTA協議の結果、場所については通学距離を最重視して選定すべきであること、統合時期についてはできる限り早く進めること、校名については新しい校名にという意見と江別小学校の名前を残してはという意見があったことなどが報告され、次回委員会ではこれらについて一定の結論を出すことが確認されたものであります。
相馬委員	次回第14回委員会は、11月5日を予定しております。以上です。 ただいま報告のありました江別小学校・江別第三小学校の統合に係る協議経過について、質問等がございましたらお受けします。 質問ではないんですが、ざっと見させていただいた中で、話が結構横に逸れていっているような部分だとか、あとは思い入れがあまりにも強すぎて、同じことしか言っていないだとか、そういうことでなかなか会議を進めるのが大変だったんじゃないかなという感じがしたんですね。これでいくと、大体いいところまで煮詰まってきたと思うんですけども、地域の声だとかもあると思うんですが、やっぱり子どもを通わせている親御さんの意見を軸に汲み取ってあげるのが一番いいんじゃないかという気がいたしました。以上です。 安全・安心なら江小のほうがいいという、隅々まで見ていないので申し訳ないんですけども、そんな感じですよ。だけれども、新しく建てるんだから4階までいいんだから、そういった発想もできないのかなと私はちょっと思ってしまったんですね。一意見です。思ったことを今、私は話しているんですけども、安全・安心なら江小、一概に高い

相馬委員	<p>所にあるから江小だっという意見があったんですけども、そうかなと。4階までオーケーだということなので、そういった形で払拭できるんじゃないかなとちょっと思いました。三小は教育施設が身近にあるので、非常に教育上好ましいってということと、やっぱり子どもたちも高齢者と一緒に利用できる複合施設ってのもいいんじゃないかなって言うのもあって、ひょっとしたら三小にまた図書館ができるかもしれない。その図書館を高齢者が利用したりとか、また高齢者が青年センターだとか、いろんな施設を利用するだとか。三小のほうがいいんじゃないかなって言うのは、私の意見です。</p>
郷委員	<p>それから、統合委員会の中でこれだけいろいろな意見が出されて、私も見ていてそうなんだ、こうなんだとすごい参考になっているんです。こういう統合委員会を何回もする必要はないんですけども、ある程度して、やはりパブリックコメントなので、それをお伺いして最終的には教育委員会で判断するっていうことをこの場でごり押しをしていただきたいなと思います。最終的には、こちらの教育委員会で決めるということで、その前にいろいろな様々な意見を私どもは重々承りますので、それはあえてこの場で言わせていただきたいですね。</p>
月田教育長	<p>私も上野委員さんの意見を聞いて、いま在学中、若しくはこれから通学するという子どもたち、保護者のご意見がやっぱり重視されるような委員会になっていただけたらなと思って思いました。</p> <p>委員さんの中には、卒業生さん、校長先生とか、違う立場から見ると意見は大事だとは思いますが、実際通われている方の意見がやっぱり重要視されるのかなって思います。早く結論が出ないのかなと、不安に思っている在学中の方もいると思うので、卒業生さんや校長先生、そしてPTAの方々、会長さん、副会長さん、いろいろな役職付の方の思い入れや、いろいろ考えてくださる意見も分かるんですけども、本当に通われている方の意見をもうちょっと反映できるような委員会になったらいいのかなと思います。</p> <p>最終的には、もしかしたら保護者の皆様の意向とはちょっとずれるような場所になってしまうかもしれないんですけども、理由付けなんかも納得していただけるような委員会であってほしいし、納得していただいてより良く子どもたちが安全に通えるような学校づくりをしていただければいいんじゃないかなって言うふうに思いました。</p>
長谷川委員長	<p>江別小学校・江別第三小学校統合委員会ですけども、地域の合意形成の場であるというふうに思っております。それで、教育委員会としては、統合委員会の意見を尊重していきたいなというふうに思っていますので、統合委員会で早く結論が出るようお願いしたいなということです。</p> <p>江小・三小どちらもですね、非常に危険な状態で子どもたちは毎日過ごしています。一日の大半を過ごす校舎があつた状態でありまして、本当に一日も早く、主役は子どもなんだという、そういう視点に立って、どこが一番いいのか、そして一日も早く安心して過ごせる校舎になることを願っております。それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p>
小林生涯学習課長	<p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(4)市民体育館耐震診断結果(速報値)についての報告を求めます。小林生涯学習課長お願いします。</p> <p>報告事項(4)江別市民体育館耐震診断結果(速報値)についてご説明いたします。</p> <p>江別市民体育館利用者への安全性確保とともに災害時における避難所としての位置付けがあることから、耐震診断を実施いたしました。</p> <p>耐震診断報告書は、第三者機関である建築物耐震診断判定委員会を経て、耐震化に係る概算工事費とともに10月末に提出されることとなっています。本日は、速報値での結果についてご報告させていただきます。</p> <p>建物を体育室棟、管理棟、柔剣道・トレーニング棟の3つに分けて調査したところ、診断の基礎となるI_s値は、すべての棟で標準の0.675を上回る結果でした。しかし、体育室棟3階部分で建物の形状や累積強度の指標に関する値が基準を下回る結果でした。それを図面で表していますが、資料の外壁東側立面図黒枠で囲った箇所が写真の窓に当たる部分ですが、この部分が基準値を下回る結果となっております。これは、体育室棟の1階・2階のように全部が壁であれば良いのですが、3階部分が窓枠で囲まれているということで、下が固くて3階部分が柔らかくて、揺れ動いた後に変形が起きるであろうということの結果でございました。</p>

小林生涯学習課長	<p>さらに、内部では天井を支えている鉄骨と柔・剣道室とトレーニング室の中間にありますラウンジ部天井も補強が必要であるという速報でございます。</p> <p>平成25年度は、これらの耐震改修に向けた実施設計委託費を計上しようとするものがありますが、正式な額は10月末の正式報告を受け算定し、予算計上することになります。また、実際の工事については平成26年度を予定するものです。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました市民体育館耐震診断結果（速報値）について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>（なし）</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>（一同了承）</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>次に、報告事項（5）第8期江別市社会教育総合計画策定スケジュールについて及び報告事項（6）第5期江別市スポーツ推進計画策定スケジュールについて、一括して報告を求めます。永嶋生涯学習課主幹お願いします。</p> <p>それでは、報告事項（5）・（6）江別市社会教育総合計画、江別市スポーツ推進計画の策定スケジュールについて、ご説明申し上げます。</p> <p>資料1ページをご覧ください。教育部生涯学習課が所管しております第8期江別市社会教育総合計画と第5期江別市スポーツ推進計画を併記した表でご説明申し上げます。</p> <p>まず、策定の根拠でございますが、第8期江別市社会教育総合計画につきましては、教育基本法による国の教育振興基本計画と社会教育法、第5期江別市スポーツ推進計画につきましては、スポーツ基本計画による国のスポーツ基本計画をそれぞれ参しゃくし、教育の振興とスポーツの推進に関する施策について定める計画であります。</p> <p>なお、スポーツ基本法の改正に伴い、計画名称をスポーツ振興計画からスポーツ推進計画に改めるものです。</p> <p>次に計画の位置付けでございますが、両計画ともに国や北海道の計画、さらには当市の上位計画である江別市総合計画、各種計画や指針との整合性を図り、江別市自治基本条例に基づき、江別市の市民意見の反映に努めながら、江別市の地域性を踏まえた計画として策定いたします。</p> <p>続きまして、2ページ目をご覧ください。計画期間でございますが、社会教育総合計画につきましては、現行第7期の計画期間が平成21年度から平成25年度までの5か年となっており、第8期の計画期間につきましても、平成26年度から平成30年度までの5年間といたします。</p> <p>スポーツ推進計画の計画期間につきましては、現行第4期の計画期間が平成17年度から平成26年度までの10か年となっておりますが、第5期の計画は、次期江別市総合計画の策定に合わせ1年前倒しすることとし、また、社会情勢の変化が著しいことから、社会教育総合計画と同様、計画期間を平成26年度から平成30年度までの5年間とします。</p> <p>策定方法でございますが、両計画に（1）から（5）まで記載してございます。</p> <p>社会教育総合計画は、社会教育委員の会議によりまず計画の立案、協議、教育委員会からの諮問、教育委員会への答申。また、スポーツ推進計画は、スポーツ推進審議会によりまず審議、教育委員会からの諮問、教育委員会への答申を行うこととなります。（2）から（5）につきましては、両計画の共通事項といたしまして、（2）庁内会議の開催、（3）計画素案について関係団体からの意見聴取、（4）議会への報告、（5）パブリックコメントにより市民の意見を反映しつつ、計画の策定を進めたいと考えております。</p> <p>次に、策定スケジュールでございますが、3ページと4ページがこれにあたります。3ページをご覧ください。第8期江別市社会教育総合計画の策定スケジュール予定表でございます。この表は、平成24年度から平成25年度までの2か年度にわたって作成したスケジュールでございます。縦が年月別、横が教育委員会、社会教育委員の会議、庁内会議、議会と区分しております。</p> <p>スケジュールの概略を申し上げますと、本年12月、教育委員会から社会教育委員の会議へ計画諮問を行い、それを受けて平成25年夏ごろには社会教育委員の会議による計画素案の立案、さらにはパブリックコメントや関係団体からの意見聴取を踏まえ、平成25年冬ごろには社会教育委員の会議から教育委員会へ答申し、平成26年初旬には教育委員会において計画案の審議決定をいただく予定でございます。</p>

永嶋生涯学習課主幹	<p>次に、4ページをご覧ください。第5期江別市スポーツ推進計画の策定スケジュール予定表でございます。この表につきましても3ページと同様の表でございますが、横が教育委員会、スポーツ推進審議会、庁内会議、議会と区分しております。スケジュールの概略でございますが、平成25年春ごろまでに庁内会議において計画素案の原案作成を行い、それを元に教育委員会事務局において計画素案を作成、教育委員会からスポーツ推進審議会へ計画諮問を行い、スポーツ推進審議会での審議、パブリックコメントや関係団体からの意見聴取を踏まえ、平成25年冬ごろにはスポーツ推進審議会から教育委員会へ答申し、平成26年初旬には教育委員会において計画案の審議決定をいただく予定でございます。なお、このスケジュールにつきましては、江別市総合計画策定の進捗状況等により、若干各項目のスケジュールが前後する可能性がございますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p>
長谷川委員長	<p>最後になります。参考として添付しております江別市パブリックコメントについてでございますが、両計画につきましては、8ページの要綱第3条第1項第1号の対象となり、パブリックコメントを実施することとなります。</p> <p>パブリックコメントの概略としましては、計画案を広く市民に公表し、市民から意見情報を求め、提出された意見等を考慮したうえで意思決定を行い、意見等の内容、これに対する市の考え方を合わせて公表するというものですが、詳細につきましては、添付資料をご覧くださいと思います。説明については、以上でございます。</p>
相馬委員	<p>ただいま報告のありました第8期江別市社会教育総合計画策定スケジュールについて及び第5期江別市スポーツ推進計画策定スケジュールについて、一括して質問等がございましたらお受けします。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>以前、浦島部長がいたころは教育委員会の中に部が2つあったんですが、今は社会教育総合計画とスポーツ推進計画を全部一括してやられているんですか。</p>
相馬委員 長谷川委員長	<p>現在の生涯学習課は、係が3係ございまして、生涯学習係、スポーツ振興係、それから青少年係となっています。元々は別々の課がそれぞれありましたが、今となってはこの生涯学習課で一緒に出すということになります。スポーツ推進計画につきましては、まだ1年余裕があるんですけども、新総計に合わせて1年前倒しして行っていきたいというものでございます。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>分かりました。</p> <p>一点いいですか。スポーツ推進計画においては、計画諮問を行う段階で、パブリックコメント公募についての審議をしますよね。でも、社会教育総合計画はこの12月に計画諮問を予定していますよね。</p>
長谷川委員長	<p>計画素案ができた段階で、それぞれのパブリックコメント公募について審議するということです。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>それはいいんだけど、教育委員会の立場から社会教育委員の会議には、今年の12月に諮問しますよね。スポーツ推進計画のほうは、いつ諮問するのか。</p>
長谷川委員長 永嶋生涯学習課主幹	<p>スポーツ推進計画につきましては、4ページの教育委員会の欄で、来年6月に計画諮問審議ということになります。</p>
長谷川委員長 佐藤教育部長	<p>来年6月でいいわけですか。</p> <p>そうです。</p>
長谷川委員長	<p>でも、スポーツ推進計画については作業を進めていますよね。</p> <p>あえて、一緒にこの策定スケジュールの報告をしている理由にもなるんですけども、実は社会教育法は新しく改正された後の時点では、諸計画の立案を社会教育委員が行うという法律になっています。それで、既にあります現行の計画につきましても、社会教育委員の会議が立案作業をしたということで、あたかも昔でいうところのスポーツ振興審議会が自ら立案したかのような制度になっているということです。しかし、新しくなったスポーツ推進審議会では、通常の審議会のパターンですので、執行機関側から案を作成して、これでよろしいですかというご意見を伺うような形の諮問・答申を行うということで、少し違います。社会教育委員の会議は、通常の見解を教育委員会に言う、その意見具申機能も別に持っております。ですから、諮問をしているような要素もあるし、立案している要素もあるという、非常に特殊な構造になっております。</p>
長谷川委員長	<p>分かりました。ほかはございませんか。</p>

長谷川委員長	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>平成24年議案第36号江別市一般会計補正予算(第3号)についての説明を求めます。</p> <p>伊藤学校教育課長お願いします。</p>
伊藤学校教育課長	<p>議案第36号江別市一般会計補正予算についてご説明いたします。</p> <p>今回の補正予算は学校教育課所管分のみですので、私からご説明いたします。</p> <p>1の補正額につきましては、記載のとおり歳出で149万5,000円増額するものであります。</p> <p>2の補正内容ですが、10款1項教育総務費の中文連・中体連大会参加補助金にかかる補正であります。</p> <p>本事業では、中体連の管内大会・全道大会・全国大会及び中文連大会や各種の吹奏楽コンクールなどに参加する際の大会参加負担金、交通費、宿泊料などを補助しているものであります。今年度は、中体連の全国大会に中央中の男子バレーボール・女子バレーボール、江別第三中の男子卓球団体・個人、大麻中の女子陸上のリレーが、東日本学校吹奏楽大会に江別第二中の吹奏楽部がそれぞれ参加するなど、目覚ましい活躍がございまして、そのため、大会参加補助の執行に当たりまして、当初予定の金額を大きく超過することとなったため、不足する額を増額補正するものでございます。</p> <p>なお、このような形で増額補正を財政当局に要求しておりますが、今後財政当局の査定により、減額あるいは他の予算からの流用などの対応も考えられるところでありますので、査定内容については次の定例教育委員会にてご報告いたしたいと考えております。以上、ご審議のほどお願いいたします。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、平成24年議案第36号江別市一般会計補正予算(第3号)についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他各課所管事項に入ります。</p> <p>(1)中学生サミットの開催についての説明を求めます。園部参事お願いします。</p>
園部学校教育支援室参事	<p>本年度のえべつ中学生サミットの開催についてお知らせします。</p> <p>えべつ中学生サミットは、市内中学校の生徒会が一堂に会し、発表や意見交換を行う場として、平成20年度より毎年1回開催しておりますが、5回目となります今年度は11月20日火曜日午後2時から4時までの日程で、市民会館小ホールを会場に開催されることとなりました。</p> <p>今回も昨年に引き続き、各校からえべつ中学生サミット宣言に基づいて取り組んでいる内容や学校独自の特色ある取り組み、またいじめ根絶に向けた取り組みや考え方について順番に発表していただき、意見交換をすることになっております。</p> <p>昨年度から、司会進行も中学生自身で行うこととなりましたが、今年度につきましては第三中学校と野幌中学校が担当いたします。</p> <p>ご都合がございましたら、是非ともご来場いただき、感想などいただければ幸いと存じます。</p>
長谷川委員長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。ないですか。極力、皆さま方も参加してください。</p> <p>それでは、次に次回定例教育委員会予定案件及び日程について説明願います。</p>
木村総務課長	<p>次回の教育委員会の案件でございますけれども、審議事項といたしましては、平成25年度江別市一般会計教育予算について、それから、学校給食用食器の選定についてなどを予定しております。</p> <p>次回、定例教育委員会の日程でございますが、11月21日水曜日、午後2時からと考えておりますが、皆さまのご都合はいかがでしょうか。</p>
月田教育長 郷委員	<p>30分くらい遅くしませんか。</p> <p>ありがとうございます。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、少し変則ですが、次回の定例教育委員会は、11月21日水曜日、午後2時</p>

長谷川委員長	30分からということでお願いします。 以上をもちまして、第10回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)
--------	---

終了 午後4時28分

署名人(委員長) 長谷川 清明

署 名 人 上野 聡志